

滋賀の公共交通未来アイデア会議

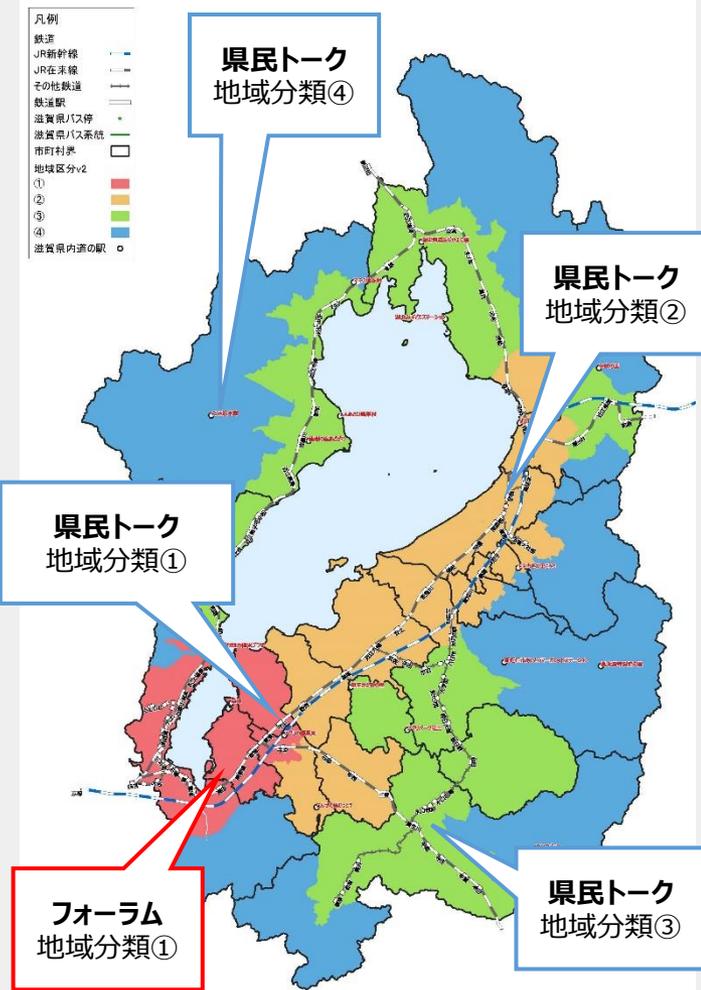
土木交通部交通戦略課



滋賀の公共交通未来アイデア会議の概要（1）

- 目指す地域交通の姿等について、県民の意見やアイデアをいただく活動として「滋賀の公共交通未来アイデア会議（「県民トーク」、「県民フォーラム」）を開催

イベント		県民トーク				県民フォーラム
形式		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が各施設へ出向き、タブレットを持って「将来の公共交通として求めるレベル」、「公共交通の問題点や課題」、「費用負担の方法の意向」等をアンケート形式で来訪者と対話 ・時間のある方には動画「SHIGA SMART ACCESS 2040S」を視聴いただき、公共交通の課題を解決するための望む施策等についても意見聴取 				<ul style="list-style-type: none"> ・県民トークの結果等を踏まえ、県民同士でも意見交換する
	地域分類	①	②	③	④	①
開催地	エリア	湖南	湖東	甲賀	湖西	湖南
	施設種類	病院	商業施設	商業施設	道の駅	商業施設
	名称	滋賀県立総合病院	イオンタウン彦根	アル・プラザ水口	道の駅 かつき新本陣	イオンシネマ草津
主なターゲット層	通院患者およびその家族	若年層ファミリー層	ファミリー層車利用者	車利用者	県民全体（WEB併用）	



※ 県民トークは上記4箇所とは別に県内市役所・町役場庁舎でも実施（全19回）

※ その他、高校生、大学生、交通事業者とも対話を実施

滋賀の公共交通未来アイデア会議の概要（2）

概要

- **実施時期** : 令和5年7月18日(月)～令和5年10月28日(土)
- **実施内容** : 属性、公共交通の利用状況、必要性に対する意向、費用負担意向等を把握
- **実施形式** : ①県民トーク（対面）

※滋賀県内各地で施設訪問者に対し、アンケート形式でヒアリングを実施

- ②県民フォーラム（対面＋WEB）

※イオンシネマ草津を会場に、参加者がアイデアを共有するフォーラムを開催

- ③アンケート（WEB）

※ポスター・チラシ上に二次元バーコード掲載

- **実施結果** :

①	1,006名
②	351名
③	235通

県民トーク実施場所：県内19市町役場、道の駅くつき新本陣、アル・プラザ水口、イオンタウン彦根、滋賀県立総合病院

▼ポスター

あなたの意見が滋賀の未来を変える！

滋賀県では、公共交通ネットワークの維持・活性化を目指し「滋賀地域交通ビジョン」策定に向けた検討を進めています。国民の皆様にも、これからの公共交通について一緒に考えていただき、滋賀のより良い未来に向けたアイデアを共有しましょう！

会議に参加して、あなたのアイデアを共有してください！

2023年7～8月 実施場所は、会場でご案内いたします。
会場：道の駅くつき新本陣
8月9日(水) 10:00～17:00 会場：アル・プラザ水口
8月11日(金) 10:00～17:00 会場：イオンタウン彦根
8月25日(水) 9:00～14:00 会場：滋賀県立総合病院

2023年10月28日(土) 会場：イオンシネマ草津(イオンモール草津3F) 開催時間(定員300名程度)・オンライン配信(予定)
※滋賀県民の皆さんは、無料でご参加いただけます。また、県民のみなさまのアイデアを共有していただく予定です。

※参加費は無料です。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いいたします。

上記以外にも会議は開催予定です！詳細はウェブサイト、Twitterでお知らせします。Twitterのフォローをお願いします。

【この会議にも参加できない方！】以下のQRコードのアンケートより、アイデアを共有していただき。

Web Twitter

（注）滋賀県（事務局）公共交通未来アイデア実行委員会（TEL:074-922-0000）

県民トーク

①概要

【県内4箇所】

日時	場所	回答数
7/30(日) 8:00~12:00	道の駅くつき新本陣	101
8/9(水) 10:00~17:00	アル・プラザ水口	54
8/11(金) 10:00~17:00	イオンタウン彦根	74
8/25(金) 9:00~16:00	滋賀県立総合病院	71
合計		300

▼道の駅くつき新本陣



▼アル・プラザ水口



▼イオンタウン彦根



▼滋賀県立総合病院



【県内市役所・町役場庁舎】

日時	場所	回答数
7/18(火)9:00~16:00	守山市役所	54
7/25(火)9:00~16:00	長浜市役所	54
7/27(木)9:00~15:00	甲良町役場	22
8/1(火)9:00~16:00	東近江市役所	50
8/3(木)9:00~16:00	甲賀市役所	51
8/8(火)9:00~15:00	竜王町役場	18
8/22(火)9:00~16:00	愛荘町役場	18
8/24(木)9:00~16:00	米原市役所	37
9/5(火)9:00~16:00	近江八幡市役所	56
9/7(木)9:00~16:00	栗東市役所	30
9/19(火)9:00~16:00	高島市役所	41
9/20(水)9:00~16:00	草津市役所	41
10/10(火)9:00~16:00	大津市役所	41
10/12(木)9:00~16:00	湖南市役所	24
10/17(火)9:00~16:00	日野町役場	18
10/18(水)9:00~16:00	彦根市役所	39
10/19(木)9:00~16:00	野洲市役所	29
10/24(火)9:00~16:00	多賀町役場	14
10/26(木)9:00~16:00	豊郷町役場	17
合計		654

その他県内高校など 計52件

県民トーク

①概要

対話状況

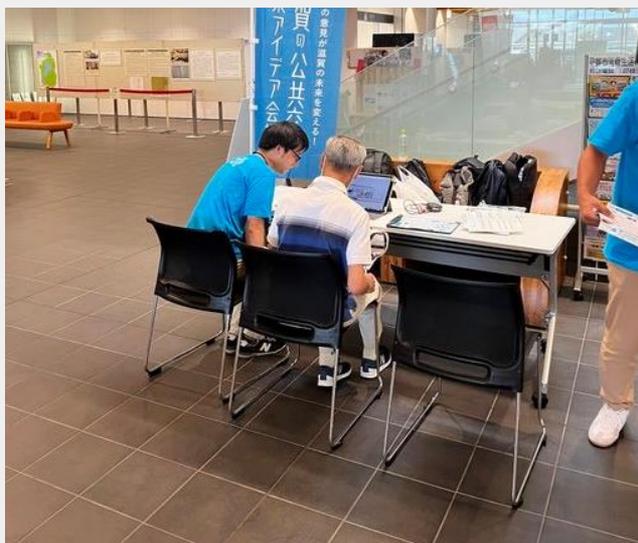
▼守山市役所



▼道の駅くつき新本陣



▼甲賀市役所



▼イオンタウン彦根



【県内居住者①】

Q1 あなたにとって公共交通は必要ですか？

- ①必要である
- ②必要でない

Q2 なぜ必要なのか、当てはまるものを選択ください（複数選択）

- ①自身が公共交通を使うから
- ②日常的に関わりがある親族が公共交通を使うから
- ③自身や親族は使わないが他の人にとって必要と思うから
- ④その他

Q3 なぜ必要でないか、その理由を教えてください

- ①公共交通を使わないから
- ②公共交通を使うが、無くても困らないから
- ③その他

Q4 あなたが日常的に関わりがある親族の中で公共交通を利用している人を選択ください（複数選択）

- ①配偶者②兄弟・姉妹③子供④父母・祖父母
- ⑤孫⑥その他の親族

Q5 公共交通の主な利用目的を選択ください

- ①通勤②通学③通院④福祉⑤レジャー⑥買物
- ⑦習い事⑧食事⑨その他

Q6 公共交通があることで可能となっている、助かっている具体例について教えてください

- 例) 子供が遠くの学校に通うことができている
- 例) 親の通院で送迎しなくて済んでいる
- 例) 公共交通で帰れるので、通勤先等、外でお酒を嗜むことができる

Q7 [現在の影響] [将来の影響] を踏まえた上であなたにとって公共交通は必要ですか？

※公共交通がなくなることによる影響

[現在の影響]

親族の通学や通院、習い事等で公共交通の代わりとして

- ・自身等が送迎する必要が出てくる（自身の負担増）
- ・タクシー等の公共交通よりも割高な移動手段を利用する必要が出てくる（コスト増）

[将来の影響]

自身が自家用車等の移動手段が使えなくなった場合に

- ・親族等に送迎してもらう必要が出てくる（親族の負担増）
- ・タクシー等の公共交通よりも割高な移動手段を利用する必要が出てくる（コスト増）

- ①必要である
- ②必要でない

Q8 なぜ必要でないか、理由をお答えください

- ①負担増やコスト増の影響よりも公共交通以外の移動手段（自家用車等）のメリットの方が大きいと思うから
- ②負担増やコスト増の影響よりも公共交通を使うことによるデメリットの方が大きいと思うから
- ③現在の移動手段以外の移動は考えられないから
- ④その他

Q9 多面的な効果を踏まえて、あなた自身が利用するかどうかに関わらず公共交通の必要性についてお答えください

「公共交通がもたらす多面的な効果」

公共交通は目的地までの移動を確保するだけでなく、地域に住み続けたいと考える人の増加や環境負荷軽減等、多面的な効果をもたらすものです。こうした多面的な効果を加味すると、営業収益が少ない場合であっても費用を上回る価値を発揮している可能性があることから、公共交通の必要性はこの効果を踏まえて検討する必要があります。

- ①必要と思う
- ②どちらかと言えば、必要と思う
- ③どちらかと言えば、必要でないと思う
- ④必要でないと思う

【県内居住者②】

Q10 動画※のような将来になった場合の公共交通の利用意向についてお答えください

- ①積極的に利用する
- ②どちらかと言えば、利用する
- ③どちらかと言えば、利用しない
- ④利用しない

※動画概要はスライド11に記載

Q11 動画を踏まえ、将来の公共交通として望ましいレベルについてあなたの考えをお答えください

- ①現状よりもサービスレベルが下がって良い
- ②現状維持
- ③動画までは不要だが今よりもサービス向上
- ④動画と同程度・それ以上のサービスレベル

Q12 サービス向上に向けて、現状の公共交通におけるあなたが思う問題点・課題をお答えください また、その問題点・課題を解決するために望む施策をお答えください。

※路線名や地域等、より具体的かつ詳細にお答えください。
※身近な公共交通の問題点・課題など、公共交通に対して思うことをお書きください。

- 例) ●●路線は●●病院へのアクセスとして重要な路線であるが、3時間に1本しか走っていないため、運行本数を増やすべき
例) ●●路線は、利用者が少ないものの、廃止にすると自動車以外で移動できなくなるため、人が住みにくくなり、●●集落が一層衰退する懸念があるため、●●路線は存続すべき

Q13 これらの状況を踏まえ、公共交通の維持・活性化に対してあなたができる行動についてお答えください（複数選択）

- ①公共交通を利用する、もっと利用する
- ②公共交通維持・活性化のために新たに負担する
- ③現在と行動を変えない
- ④その他

Q14 新たな負担が必要となった場合に負担の方法について、どのような方法が望ましいか選択ください（3つまで）

※乗車前払い負担とは、利用有無に関わらず一定額の乗車券を県民等に予め購入してもらうものです。
日頃公共交通を利用していない人にも購入してもらうなど、予め決まった金額の財源が確保でき、負担した分の公共交通を利用すれば負担分が相殺される仕組みとなります。

- ①運賃値上げによる負担（値上げ分が新たな負担）
- ②乗車前払い負担（事前の乗車券購入費分が新たな負担）
- ③公共交通利用者に対するの税負担
- ④県民全員に対するの税負担
- ⑤県民および県外来訪者に対するの税負担
- ⑥企業に対するの税負担
- ⑦ふるさと納税を活用した負担
- ⑧その他

Q15 負担する場合の許容額（現状に対して追加で支払っても良いと思う上限額）について以下から選択ください

- ①100円/月増（年間1,200円）
- ②300円/月増（年間3,600円）
- ③500円/月増（年間6,000円）
- ④1,000円/月増（年間12,000円）
- ⑤1,500円/月増（年間18,000円）
- ⑥2,000円/月増（年間24,000円）
- ⑦3,000円/月増（年間36,000円）
- ⑧上記以上

【県外居住者】

Q1 滋賀県へ来訪する主な目的について選択ください

- ①通勤②通学③観光・レジャー④通院⑤福祉
⑥習い事⑦買物⑧食事⑨業務⑩その他

Q2 滋賀県へ来訪する主な手段について選択ください

- ①鉄道②高速バス③路線バス④自動車
⑤自転車⑥徒歩⑦その他

Q3 滋賀県への来訪頻度について選択ください

- ①ほぼ毎日②週に3～4日程度③週に1～2日程度
④月に数日程度⑤年に数日程度⑥ほとんどない⑦全くない

Q4 滋賀県の公共交通の状況※をご覧ください、あなたのお住まいの地域など、全国的に同様の状況となっています。これらの公共交通のおかれている状況について、認知状況をお選びください。

- ①知っていた
②聞いたことがある程度
③知らなかった

Q5 滋賀県においても、公共交通の存続が厳しい状況にあります。このような状況の中、現在、滋賀県では県内の公共交通の維持・活性化のために新たな負担について議論をしているところですが、滋賀県の新たな負担の議論について認知状況をお選びください。

- ①知っていた
②聞いたことがある程度
③知らなかった

Q6 滋賀県の公共交通の維持・活性化のために新たな負担を求めることに対してどのように思いますか ※滋賀県の来訪時等に負担が発生するものとし、あなたが負担する立場にある状況を想定してお答えください。

- ①一部負担しても良いと思う
②一部負担はどちらかと言うと、しても良いと思う
③一部負担はどちらかと言うと、しても良いとは思わない
④一部負担はしても良いとは思わない
⑤一部負担はしても良いとは思わないが、負担はやむを得ない

Q7 一般的に国民や企業等から、公共交通の維持・活性化のために新たに負担してもらうことについての考えをお答えください ※あなたが生活している地域で負担する立場にある状況を想定してお答えください

- ①賛成である
②どちらかと言うと、賛成である
③どちらかと言うと、反対である
④反対である
⑤反対であるが、負担はやむを得ない
⑥わからない

※滋賀県の公共交通の状況 事前提示内容

○負のスパイラル

自家用自動車へのシフトや少子高齢化による人口減少等により、利用者が減少し、その結果、交通事業者の経営状況は厳しくなり、サービス水準の低下が進み更に利用者が減少するという負のスパイラルに陥っています。

○赤字状況

公共交通の輸送人員は減少しており、また、県内の公共交通(路線バス)のうち、約8割の路線が赤字となっています。このまま利用者数減少が続くと既存路線の維持が困難になり、公共交通が廃止となるおそれがあります。

○補助金の状況

県内の公共交通に対しては、既に県、市、町により約3割の費用負担が行われており、それにより維持が来ています。

県民トーク

①概要

対話例



公共交通があることで遠くの高校に通学できる。彦根発米原方面行の始発電車の時刻が遅いので、早くしてほしい。(男性・10代)



出張時に使うため公共交通は必要。職場は公共交通を使わなくても通える距離だが、同僚たちは8割公共交通を利用しており、駅から徒歩20分ほどの距離で苦勞している。公共交通が使いやすければ車を手放す選択肢はある。公共交通の充実のためには、車利用者への負担が良いのでは。(男性・30代)



移動手段としては電車を選択したい。公共交通があることで子どもが通学に利用しており、自身も飲み会の帰りに利用している。事故の発生時に長時間待たされること、密になりやすい点が気になる。(女性・30代)



公共交通を利用すると移動時に寝ていられるのが便利。ただベビーカーの利用はしづらく、運行本数も少ない。(女性・30代)



公共交通は必要だとは思いますが、中途半端にバスがあるから使い勝手が悪いと不満が出るし経費もかかる。新たな税は負担したくない、国が負担するべきである。(男性・50代)



足が悪く、デマンドは利用できないが通院でタクシーを呼んでも空きがなければ来ないので利用できない。通院や市役所などの足になる路線バスは最低限必要であり、もっとお年寄りや不自由な人にやさしい公共交通にしてほしい。(女性・70代)

県民トーク

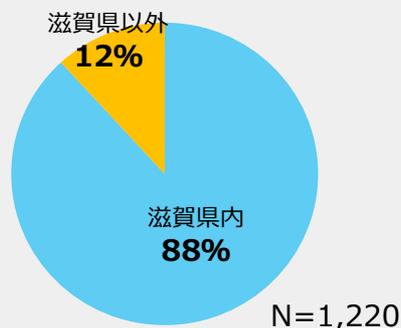
②対話結果 回答者属性等

- 回答者のうち県内居住者が8割以上で、年代は県内・県外居住者ともに40,50代が多い
- 公共交通の利用頻度は、県内居住者は年に数日程度以下が半数以上

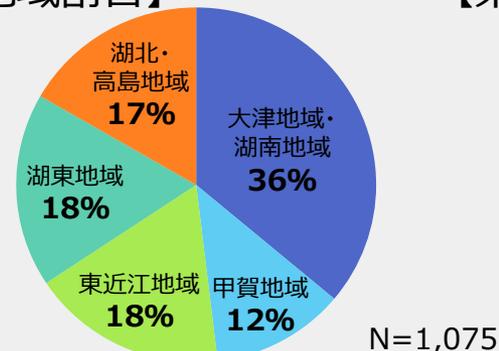
【回答者属性（県内・県外共通）】

▼居住地

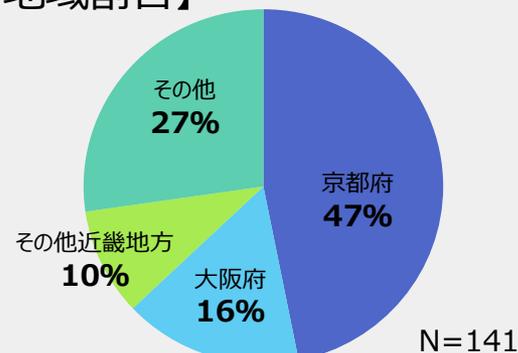
【全体】



【県内地域割合】



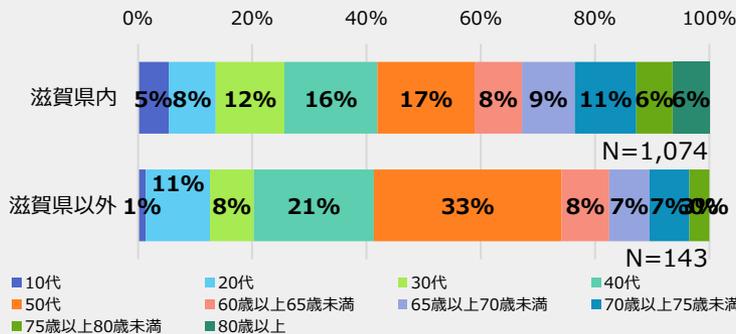
【県外地域割合】



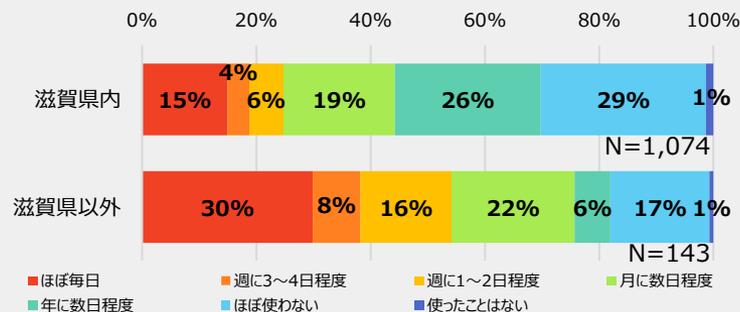
大津地域・湖南地域（大津市・草津市・守山市・栗東市・野洲市）、甲賀地域（甲賀市・湖南市）、東近江地域（近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町）、湖東地域（彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町）、湖北・高島地域（米原市・長浜市・高島市）

その他近畿地方（兵庫県・奈良県・和歌山県）

▼年代



▼公共交通の利用頻度

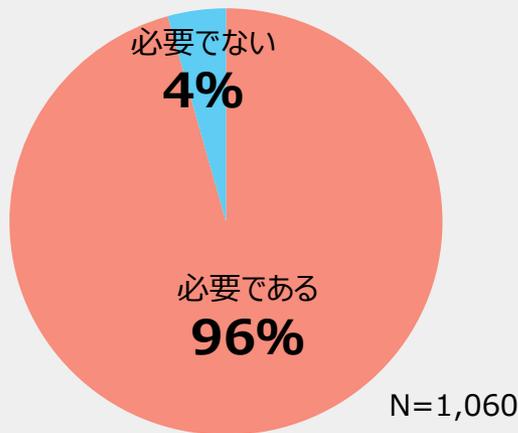


県民トーク

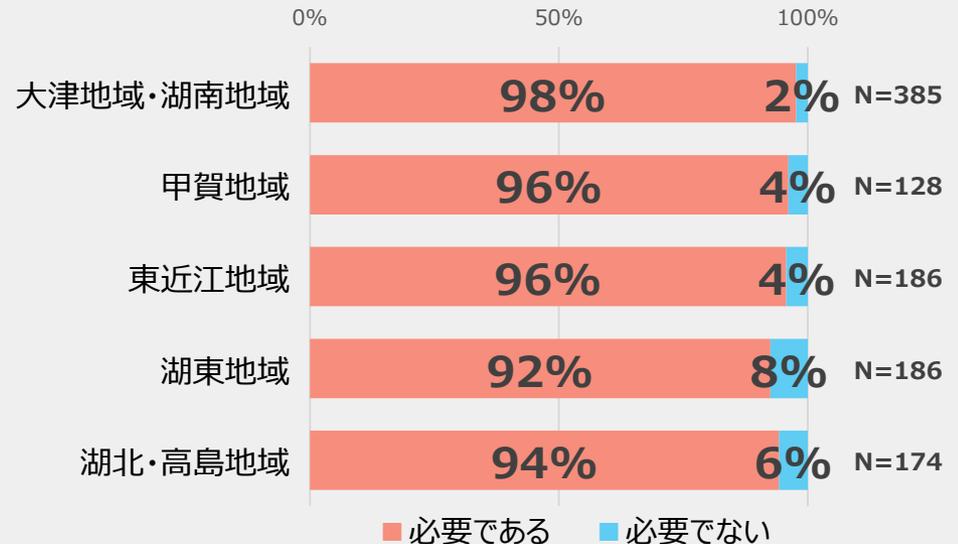
②対話結果 県内居住者 公共交通の必要性

●公共交通の必要性は全ての地域において9割以上が「必要である」と回答し、その理由としては「自身が公共交通を使うから」が約7割

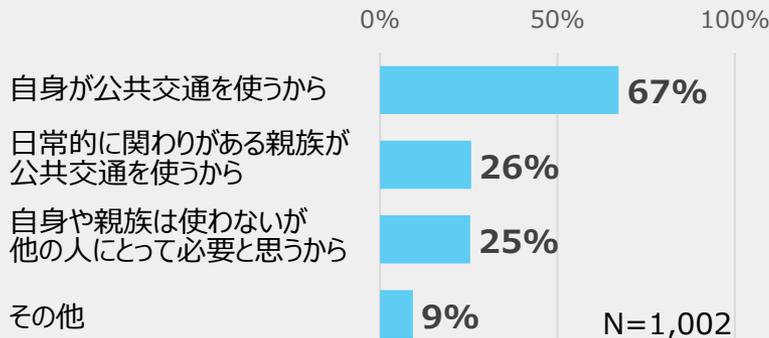
▼公共交通の必要性（全体）



▼公共交通の必要性（地域別）



▼必要な理由



▼公共交通があることで実現できている具体例

- 遠くに出かけるときに便利・楽
- 出かけた先でお酒を飲むことができる
- 運転免許を持っていない人や免許を返納した人にとって必要
- 通勤・通学の選択肢が広がる

等